

拠出金名：世界気象機関篤志協力計画拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(国土交通省気象庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				1,144,811千円	
国際機関等名	世界気象機関 (英文名称・略称) World Meteorological Organization (WMO)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	国土交通省気象庁総務部企画課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成19年度	20,648	178		1米ドル = 116円	100
平成18年度	19,758	178		1米ドル = 111円	100
平成17年度	19,046	178		1米ドル = 107円	100
当該拠出金の目的・用途等	事務局経費、総会及び専門委員会、技術会合の開催費用				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国 名	金額(注1) (千米ドル)	拠出率(注2) (%)	当該年度の収入 74.4 百万CHF	
1位	スペイン	4,931	81.8	当該年度の支出 65.2 百万CHF	
2位	オーストラリア	288	4.8	次年度への繰越 9.2 百万CHF	
3位	米国	230	3.8	会計検査機関名	
4位	日本	178	3.0	National Audit Office	
5位	イタリア	160	2.7	(現在の構成員の出身国： 英国)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
世界気象機関(WMO)は、世界の気象事業の調和的な発展を目指し、気象観測・通信・データ処理等の気象業務の基盤に係わる世界的なネットワークを構築するとともに、同機関の枠組のもと、気象業務の発展に資する国際共同研究の推進等、国際的な調和機能を果たしており、我が国の気象業務を推進する上で重要な役割を果たしている。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
WMOに設置されている委員会の運営の効率化、事務局の役割の明確化等、組織全般にわたる見直しについて、WMOの組織に関するタスクチームが設置され、WMOの戦略計画を踏まえながら検討を行っており、合理化、機能強化のための改革は着実に進んでいると認識している。					
邦人職員数 うち幹部以上	4人 うち 1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	約 270 人 約 1.5 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
開発協力・地域活動部 アジア・南西太平洋地域室長		戸矢 時義		元気象庁職員	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
気象庁長官及び、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使からWMO事務局長に対して、日本人職員のさらなる登用に向けて要請を行っている。					

(注1) 拠出金額には、国によっては二国間の研修活動や観測測器供与相当分が含まれる。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。